

# 朗読と組踊 玉城朝薫が紡いだ歌舞

琉球楽劇の創始者

昨年延期となった公演「組踊」の創始者玉城朝薫に焦点を当てた朗読劇と組踊を上演します。

琉球王府の官吏であり、踊奉行だった朝薫が創作した『執心鐘入』『二童敵討』『護佐丸敵討』『銘苅子』『女物狂』『孝行の巻』の5作品は「朝薫の五番」と称されて沖縄で大切にされています。

第一部では、玉城朝薫が生み出した組踊の軌跡を、沖縄言葉の朗読と琉球古典音楽で辿ります。第二部は朝薫の五番のうち初めに作られた組踊から「執心鐘入」(昼の部)、「二童敵討」(夜の部)をそれぞれお楽しみ下さい。

2021年10月6日(水) 昼の部 午後2時開演 (1時15分開場)  
夜の部 午後6時30分開演 (5時45分開場)

会場 紀尾井ホール (1F)

第一部 (昼・夜の部 共通)

朗読劇『國戯誕生～玉城朝薫が紡いだ歌舞～』  
原作:大城立裕「花の碑」 脚本・演出:嘉数道彦 振付:玉城匠 音楽:仲村逸夫

玉城朝薫 東江 裕吉  
平敷屋朝敏 上原 崇弘  
チラー 知念 亜希  
踊り 宮城 茂雄 (昼) 佐辺 良和 (夜)  
語り部 玉城 匠

第二部

『執心鐘入』(昼)  
中城若松 金城 真次  
宿の女 佐辺 良和  
座主 宇座 仁一  
小僧一 嘉数 道彦  
小僧二 新垣 悟  
小僧三 玉城 匠  
後見 上原 崇弘

『二童敵討』(夜)  
あまおへ 宇座 仁一  
鶴松 宮城 茂雄  
亀千代 金城 真次  
母 新垣 悟  
供一 上原 崇弘  
供二 佐辺 良和  
供三 嘉数 道彦  
きやうちやこ持ち 玉城 匠

地謡  
歌三線 仲村 逸夫、仲村渠 達也  
玉城 和樹、大城 貴幸  
箏 町田 倫士  
笛 入嵩西 論  
胡弓 森田 夏子  
太鼓 久志 大樹

監修 徳丸吉彦  
制作協力 シアター・クリエイト  
立方指導:宮城 能風(執心鐘入)  
真境名 正憲(二童敵討)  
地謡指導:比嘉 康春



写真:国立劇場おきなわ

料金 (税込) 全席指定 6,000円 U29 3,000円 昼夜通し券 11,000円

※お一人様4枚または4セットまでのお申し込みとさせていただきます。 ※優先販売で予定枚数に達した場合、一般販売はございません。  
U29 公演当日に29歳以下を対象とする割引料金です。U29・昼夜通し券は、紀尾井ホールウェブチケットのみで販売。

好評発売中

● 紀尾井ホールウェブチケット <https://kioihall.jp/tickets>  
操作方法がわからない場合は、ヘルプデスク(0570-550-372/ナビダイヤル・有料)へお問い合わせください。  
● チケットぴあ(セブンイレブン店頭でも購入できます) [Pコード 199418]  
セブンイレブン店舗に設置のマルチコピー機からチケットをお申込み、レジでのお支払い後、チケットをお受け取りいただけます。現金、クレジットカード払い可能。



新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い チケットご購入条件として右記QRコードより内容をご確認ください。

※不測の事態で公演中止となる可能性がございます。最新情報はウェブサイトにてご確認ください。  
※料金は税込です。本紙掲載の料金のほか、発券時に所定の手数料がかかります。手数料はお支払方法により異なります。 ※やむを得ない事情により公演中止となる場合は、チケット購入者に券面表示金額にて払い戻しいたします。 ※出演者・曲目・演劇回数は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。 ※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。  
※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。 ※車いす席をご希望の方はメール(webticket@kioi-hall.or.jp)にてお申込みください。スペースに限りがありますので、ご来場の際は事前に必ずご相談ください。

▶ 有料動画  
11月10日配信開始!  
詳細はウェブサイトをご覧ください。

# 朗読と組踊 玉城朝薫が紡いだ歌舞



たまくすく ちようくん

**玉城朝薫** (1684 ~ 1734) 首里生まれ。琉球王朝の官僚。領主の家に生まれました。幼い時に父と死別、母との離別により祖父に養育され、8歳で家を継ぎます。官僚としても領主としても有能でしたが、朝薫の芸能才能は早くから開花し、20歳頃、2度目に薩摩に上国した時、薩摩藩主の前で仕舞「軒端の梅」を舞うほど、本土の芸能に精通していました。生涯で薩摩上り5回、江戸上り2回を経験し、大和芸能への造詣は非常に深いものになっていきました。1718年、中国からの使者 冊封使をもてなす御冠船踊の踊奉行に任命され、翌19年の歓待の宴で創作した組踊が初めて上演されました。演目は「二童敵討」（護佐丸敵討）と「執心鐘入」の二番。朝薫はこの他に「銘刈子」「女物狂」「孝行の巻」も創作し、それらも上演されました。

## 朗読劇『國戯誕生～玉城朝薫が紡いだ歌舞～』

あらすじ

新しい踊りを創るよう王命をうけた玉城朝薫（東江裕吉）は、かねてから知識を備えていた大和の能楽を真似てみようかと、試行錯誤を繰り返していました。一方、平敷産朝敏（上原崇弘）は新たな感性で新しい歌のスタイルを確立していました。朝薫は、朝敏の新しい歌に対して、また、朝敏と遊女チラー（知念亜希）との恋に対して心配を示します。しかし、朝敏とチラーの間を恐るるに、二人で恋を全うしようとする姿に、ヒントを得て組踊を作り上げていきます。それぞれの舞台に対する思いが交差するなか、いよいよ冊封使を歓待する御冠船踊がはじまります。

## 執心鐘入（昼）

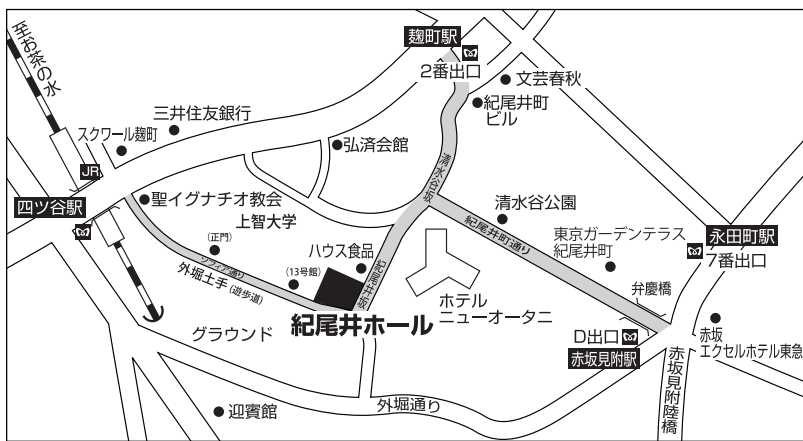
中城若松という美少年が首里に奉公に行く途中、日暮れで一夜の宿を求めます。宿の娘は一度断りますが、若松とわかると喜んで迎えます。休みを取りたい若松は、語り明かしたいと言い寄る娘に嫌気が差し宿を出ますが、娘は追いかけてきたため、寺に救いを求めて駆け込みます。寺の座主は鐘の中に若松をかくまって小僧に見張りを言いつけます。女人禁制の寺に乗り込んだ娘は鐘が怪しいと怒り狂い鬼女に変化します。

## 二童敵討（護佐丸敵討）（夜）

1458（尚泰久5）年の「護佐丸・阿麻和利の変」を元にした作品です。あまおへ（阿麻和利）は天下を取るため、護佐丸を、計略を用いて首里王府で攻め滅ぼします。護佐丸の遺児、鶴松と亀千代の兄弟は敵討ちの機会を狙っていました。あまおへが野遊びをすると聞き、二人があまおへに近づくと、あまおへは二人に踊を見せろと命じ、酒を注がせます。そのうちにあまおへは着物を脱いで二人に与えます。二人はその隙を突いて、親の敵を討ちます。

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
| <p><b>佐辺良和</b><br/>琉球舞踊世舞流二代目家元<br/>又吉世子に師事。第十九回日本伝統文化振興財団賞受賞。<br/>沖縄タイムス芸術選賞大賞受賞。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。</p> | <p><b>嘉数道彦</b><br/>宮城流能里乃会師範<br/>初代宮城能造、宮城能里に師事。<br/>第39回松尾芸能賞新人賞舞踊部門受賞。<br/>沖縄タイムス芸術選賞大賞受賞。</p> | <p><b>宇座仁一</b><br/>宮城乃流能史之会師範<br/>宮城能史・宮城能之に師事。沖縄タイムス芸術選賞奨励賞受賞。</p>          | <p><b>新垣悟</b><br/>宮城本流風乃會教師<br/>宮城能風に師事。</p>                                     | <p><b>東江裕吉</b><br/>玉城流玉扇福珠会師範<br/>玉城静江・組踊を宮城能風に師事。沖縄タイムス芸術選賞奨励賞受賞。</p> |
| <p><b>知念亜希</b><br/>玉城流翔磨佐子の会師範。我如古磨佐子に師事。</p>  | <p><b>上原崇弘</b><br/>玉城流喜納の会教師。<br/>伊波正正に師事。国立劇場おきなわ第三期組踊研修修了。</p>                                 | <p><b>玉城匠</b><br/>宮城流豊舞会教師。<br/>宮城豊子・鳥袋美智子に師事。国立劇場おきなわ第二期組踊研修修了。</p>         | <p><b>金城真次</b><br/>玉城流扇寿会教師。谷田嘉子・金城美枝子に師事。沖縄タイムス芸術選賞奨励賞受賞。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。</p> | <p><b>宮城茂雄</b><br/>宮城流師範。二代目宮城能造に師事。沖縄タイムス芸術選賞奨励賞受賞。</p>               |
| <p><b>大城貴幸</b><br/>琉球古典音楽安富祖流絃管会師範。演元盛爾に師事。国立劇場おきなわ第二期組踊研修修了。</p>  | <p><b>玉城和樹</b><br/>琉球古典音楽安富祖流絃管会師範。西江喜春に師事。<br/>国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。</p>                           | <p><b>仲村崇達也</b><br/>琉球古典音楽野村流音楽協会師範。<br/>松田健八に師事。<br/>国立劇場おきなわ組踊研修第一期修了。</p> | <p><b>歌三線</b></p>  | <p><b>歌三線</b></p>  |
| <p><b>久志大樹</b><br/>光史流太鼓保存会師範。鳥袋光史・比嘉聰に師事。沖縄タイムス芸術選賞奨励賞受賞。</p>   | <p><b>森田夏子</b><br/>琉球古典音楽野村流保存会師範。又吉真也に師事。</p>   | <p><b>胡弓</b></p>   | <p><b>入富西諭</b><br/>琉球古典音楽安富祖流絃管会師範。大湾清之に師事。最高賞受賞。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。</p>          | <p><b>町田倫士</b><br/>琉球争曲舞踊会教師。山内照子に師事。国立劇場おきなわ第五期組踊研修修了。</p>            |

会場のご案内 〒102-0094 千代田区紀尾井町6番5号



- 最寄駅 ●四ツ谷駅(JR線・丸ノ内線・南北線) 麴町口徒歩6分  
●麴町駅(有楽町線) 2番出口徒歩8分  
●赤坂見附駅(銀座線・丸ノ内線) D出口徒歩8分  
●永田町駅(半蔵門線・有楽町線) 7番出口徒歩8分

## 紀尾井ホールサポートシステム

紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です (五十音順・「株式会社」等表記および敬称略)

- 《特別協賛会員》A.ランゲ&ゾーネ/日鉄ソリューションズ/三菱商事/三菱地所  
《みやび会員》伊藤忠商事/大島造船所/KDDI/菅原/住友商事/丸紅/三井住友銀行/三井物産/三井不動産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほかに匿名2社  
《ひびき会員》オカムラ/きらぼし銀行/高砂熱学工業/竹中工務店/山下設計  
《みどり会員》青鬼運送/赤坂維新號/赤坂エクセルホテル東急/今治造船/ヴォートル/エーケーディ/NTTドコモ/荏原冷熱システム/鹿島建設/ザ・キャピトルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/西武プロパティーズ/大成建設/千代田商事/テイスト・ライフ/東芝ライテック/永田音響設計/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/富士フィルムビジネスイノベーションジャパン/松尾楽器商会/三井住友信託銀行/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージック/明治舞台/ヤマハサウンドシステム/有帆  
《あおい会員》青木陽介/飯沼万里子/石崎智代/磯部治生/井上善雄/植竹浩樹/大武和夫/小島 徹/片山能輔/久保祐子/栗山信子/佐久間庸行/佐伯いく子/清水正/清水多美子/清水康子/白土英明/鈴木亮/高下謙彦/田中進/外山雄三/鳥居荘太/中塚一雄/中西達郎/西村利美/原田清朗/北條哲也/堀川将史/牧本恵美子/松枝力/松本美恵/養翰永世/宮本信幸/陸田実/村上喜代次/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子/山内寿実/吉峯裕毅 ほかに匿名23名 計189口

(2021年8月1日現在)